

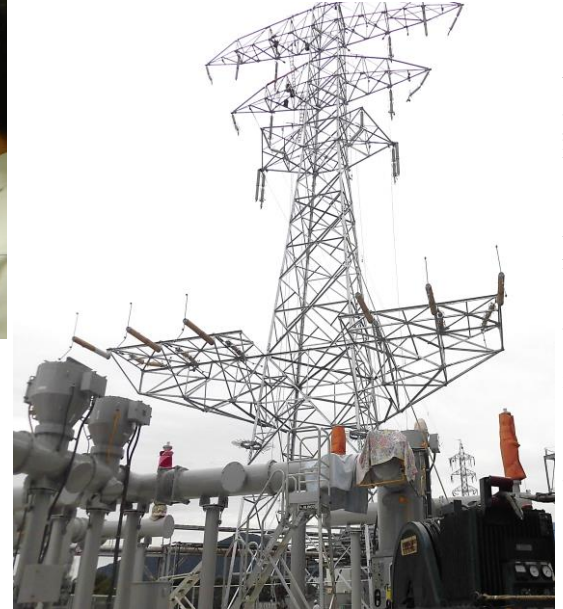
10月10日特別高圧受電を行いました

防府バイオマス・石炭混焼発電所の試運転に必要な電源として、牟礼防府線から受電を行い、電源確保をしました。11月から各補機(給水ポンプ、送風用のファン等)の試運転を本格的に開始しています。



受電操作の様子(技術部:山本) ▲

少し見づらいますが受電時の電圧、110kVが表示されています。



▲ 発電所敷地内の鉄塔で電気を受けています。



12月1日「維新」小野田港着岸

今年、6月に進水式を終えたPKS(ヤシ殻)・石炭内航船「維新」の艀装工事が完成しました。運航は、船長以下7名で行われます。

三田尻中関港には、セルフアンローダーの調整のため、1月中旬に来港予定で、実際にPKSや石炭を積んでの運航は3月以降となり、7月の営業運転開始以降はほぼ毎日、三田尻中関港に来港することとなります。

▼ 船内には船の操縦機器はもちろん、コンベアの操作設備等も搭載されています



操縦席



荷役制御盤



メインエンジン

「維新」の特徴

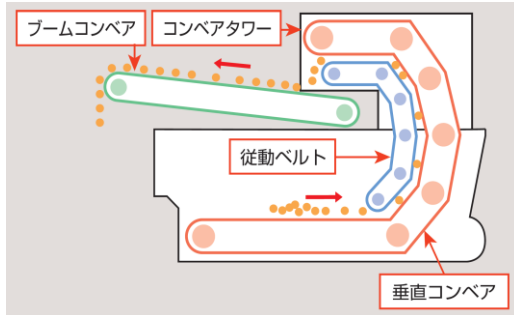
船上に揚げ荷装置を持つ船を「セルフアンローダー船」と呼びます。荷降ろしは船の中に設置されたコンベアが行います。船底から垂直に立ち上がる「垂直コンベア」と「従動ベルト」でPKSや石炭を挟み込んで「コンベアタワー」の高さまで持ち上げ、「ブームコンベア」上に落とし、陸側に搬出される作りになっています。



コンベアタワー

ブームコンベア

船内のコンベア構造



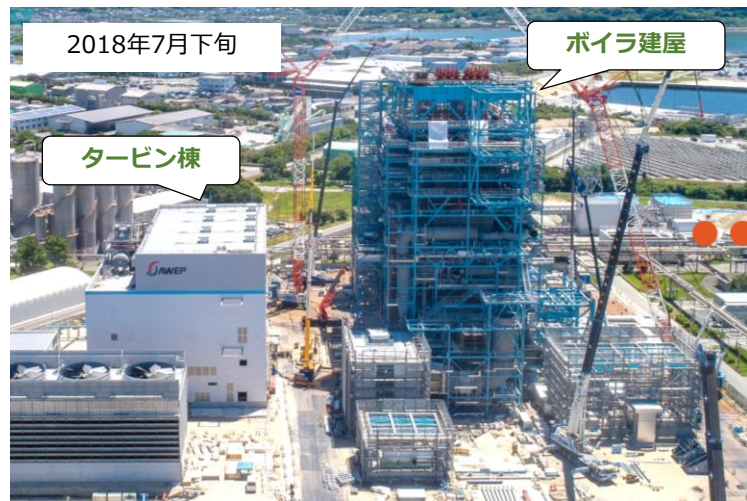
ブームコンベア

コンベアタワー

従動ベルト

垂直コンベア

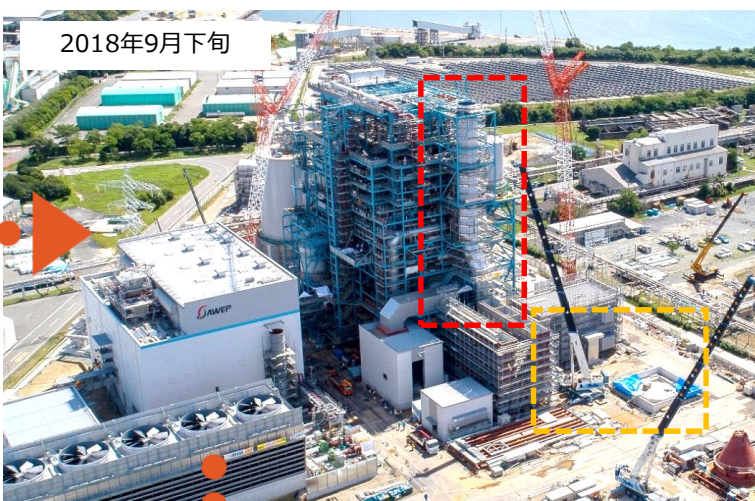
建設工事進捗状況



2018年7月下旬

タービン棟

ボイラ建屋



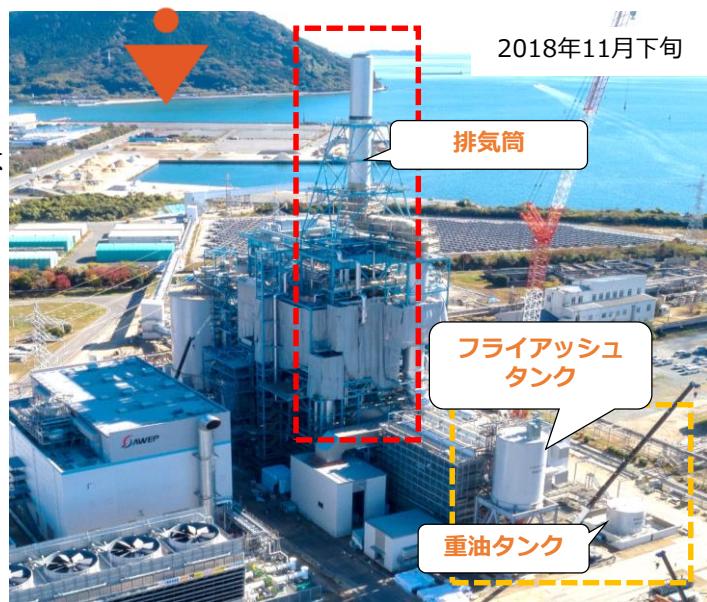
2018年9月下旬

建設工事は順調に進み、ほぼ9割がた工事が完了しました。

発電所の中で一番高い建物であるボイラ建屋の排気筒は11月末に取付工事が完了し、約100mの高さとなりました。更に、重油タンクやフライアッシュタンクを始めとする各種大型設備・機器の設置も進んでいます。

工事が完了した各設備の検査や試運転を行い、営業運転に向けて着々と準備を進めています。

消防設備の立入り検査に伴い
弊社社員が実放水試験を実施した
ときの様子



2018年11月下旬

排気筒

フライアッシュ
タンク

重油タンク

11月11日

親睦ソフトボール大会を行いました

11月11日(日)鐘紡町の隣接会社FILWEL様のグラウンドをお借りして、発電所建設工事協力会社との親睦ソフトボール大会を行いました。好プレーもありましたが、大半は迷プレー、珍プレーのオンパレードで日ごろの工事の緊張をほぐし、相互に親睦を深めました。終了後は、バーベキュー大会を行い、小春日和の秋の一日を楽しみました。



試合結果

- ★優勝 竹中JV
- ☆準優勝 中電プラント
- 第三位 住友重機械工業
- 第四位 AWEP山口



11月17日

水を守る森林づくり体験活動に参加しました



森林の適切な管理及び社会環境整備を目的とし、山口農林水産事務所様主催の森林整備活動が防府市矢筈森林公園周辺で行われました。当社からは横田所長、塩見部長、重田の3名が参加しました。

防府市長 池田様(写真中央) 山口農林水産事務所 松永様(右) 横田所長(左)

新しいメンバーを迎えました



7月に総務部へ1名、11月に発電課へ5名のメンバーを迎えました。

左から(総務部) 田中マネージャー、(発電) 佐々岡、岡本、神田、嶋本、石井です。AWEP山口、総勢28名で一人となり、営業運転開始に向けて邁進します。

